

はじめに

今なぜ、あなたは教職課程や学芸員課程を履修しようとしているのでしょうか？

- ・小さい頃から教師になるのが夢だったから。
- ・博物館や美術館で仕事をしてみたいから。
- ・子どもが大好きで、何としても子どもに関わる仕事がしたいから。
- ・中学の時に出会った先生に感銘を受け、自分もその先生のようになりたいから。
- ・歴史が大好きなので、歴史に関わった仕事に就きたいと考えたから。
- ・社会教育に関心があるので、基本的な資格として必要だから。
- ・野球をがんばってきたけれど、プロ選手にはとてもなれない。高校の教師になれば、部活の指導などを通して一生野球に関われるから。もしかすると甲子園に出られるかも。
- ・景気が不安定な中で、教育関係は安定した仕事だから。
- ・お父さんもお母さんもおじいさんもおばあさんも教師だった。ウチは教師一家だから、私が教師になるのは当然のこと。
- ・大学入学の際に、何か資格を取ることが親の条件だったから。

いろいろありますねえ。まあ、今のところの理由は特に問わないことにしましょう。これから教職課程や学芸員課程で学ぶ内に、大いに変わってくることもあるでしょうから。いや、大いに変わってもらわないと困ります。

というのも、みなさんはまだ、教師や学芸員という仕事、学校や博物館という場所、子どもという存在の本質について、肝心なことは全然わかっていないからです。むしろ、すっかり誤解しているに違いない。

たとえば「小さい頃からの夢だった」という、一番純粋な動機の人だって、もしかすると教師や学芸員の仕事について好意的な誤解をしているかもしれない。実際、大学でいろいろと勉強するうちに、「なあんだ。そんなショウバイなわけ？ だったらやめろ」って人は、少なくありません。

逆に、当初は「部活の指導」や「安定した仕事」だからという、少しばかり不純な理由で課程を履修した人が、勉強するうちに「へえー。そういう面もあるんだ。これは野球がどうのなんてことは置いといても、生涯をかけてやり抜くだけの価値のある仕事かもしれないぞ」なんて言い出すことも、これまた少なくないんですね。

だからまあ、今のところはどんな動機でここにやってきた人も、とにかくこの上智の教職課程なり学芸員課程でしっかりと勉強して下さい。そうすれば、教師や学芸員になるべきか、資格は取るけれど別の道を歩むべきか、はたまた課程の履修自体を断念すべきか、比較的早い時期に見えてくるはずですよ。

もちろん、私たちスタッフとしても、そういったみなさんの学びの深まりと進路選択に関わる悩みについて、最大限のサポートができるよう、全力で努力していくつもりです。

というわけで、よろしく願いいたします。

2010年4月

課程センター長